

NLD916AEA□□ (□□は回線数)

施工される前に

- 正しく施工をしていただくために、必ずお読みください。
- 施工するには、電気工事士・消防設備士（甲種第4種）の資格が必要です。
- 施工後、必ず施工主に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。
- 火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

- 運動操作盤の運動データなどの現場調査設定内容の記録は施工責任者が保管してください。
- 現場調査設定が必要です。必ず設定説明書を参考に設定作業をしてください。

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

警告
人が死にまたは重傷を負う可能性が想定される内容

注意
人が傷害を負う可能性が想定される内容

警告 分解禁止	機器を分解したり、修理・改造はしない。 感電・故障の原因となります。	
注意 必ずやる	電源（AC100V）を切り、予備電源用の電池を取りはずした状態で施工する。 活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。	施工説明書にしたがひ、その質量に十分耐えるように強固に取り付ける。 安易な取り付けは脱落によるケガの原因となります。
禁止 禁止	AC100V専用です。接続前に入力電圧の確認をする。 AC100V以外の電圧では発火・発熱の原因となります。	AC100V用電源端子は確実に締め付ける。 締め付けが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
禁止 ぬれた手禁止	ヒューズ交換は電源（AC100V）および電源スイッチを切った状態で行う。 電源を切らないと、感電の原因となります。	電池は必ず接続する。 AC100V端子の電源端子カバーは工事終了後、必ず取り付ける。 感電の原因となります。
注意 アース接続	水や雨のかかる場所（屋外など）および湿気の多い場所（給湯室など）には設置しない。 感電・故障の原因となります。	運動操作盤の表面が汚れた場合、水をついたり・水をかけたりして汚れを落とさないでください。 感電・故障の原因となります。
注意 アース接続	ぬれた手で運動操作盤をさわったり、水をついたり、水をかけたりしない。 感電・故障の原因となります。	小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。 発火・発煙の原因となります。
注意 アース接続	アースの接続は確実に行う。 使用時や漏電のときに感電するおそれがあります。	据付作業は落下・転倒防止のため、必ず2人以上で作業する。 運動操作盤の開閉にはご注意ください。 90°以上、扉を開けると扉の変形や他の物品を破壊するおそれがあります。

付属品	●取付用部品	1セット
	●予備品（ヒューズなど）	1セット
	●電池	1コ
	●施工説明書（本紙）	1部
	●取扱説明書	1冊
	●設定説明書	1冊
	●ユーザー設定用紙	1部
	●地図式ユニット取扱説明書	1部

施工上のご注意

- この商品は**屋内専用**です。屋外・屋側には設置しないでください。
- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

運動操作盤取り替え時のご注意

- 運動操作盤を取り替える場合、現行の運動操作盤では副受信機の電源容量が不足する場合があります。取り替える前に必ず現在、接続されている副受信機の消費電流を確認ください。（副受信機も現行商品に取り替えることをおすすめします。）

施工時のご注意

- 工事・施工時のゴミなどは機器の中に残さないでください。
ショートや故障の原因となります。
- 電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。
電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化接触不良をおこし誤作動の原因となります。
- 強電ライン・AC100V配線と小勢力配線はできる限り離して施工してください。
強電ライン・AC100V配線と小勢力配線の近くにあると誤動作の原因となります。
- 接続方法に示す機器以外の機器を接続する場合には、当社へご相談ください。
不適切な接続は誤動作・故障の原因となります。
- 他社商品との接続は、仕様をよく確認してください。仕様が合わない誤動作・故障の原因となります。
- アースは必ず接続してください。（D種（第3種）接地相当以上（100Ω）以下としてください。）
- 感知器配線の終端に終端抵抗器〔10kΩ〕（付属）を取付け、終端抵抗器ラベル（付属）を貼り付けてください。
また運動操作盤の交換時は、終端抵抗器をご確認ください。
指定以外の終端抵抗器は使用しないでください。
- 蓄積型感知器は接続できません。



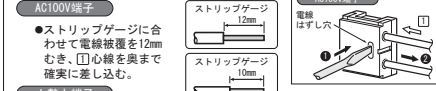
■次のような場所には設置しないでください。（誤動作・故障の原因となります。）

- 直射日光の当たる場所
- 水滴、蒸気、ほこりなどがかる場所
- 周囲に操作上支障となる障害物のある場所
- 衝撃、振動などの影響を受ける場所
- 常に人がいなくようすを確かめられない場所
- 薬品などのガスが発生する場所
- 強電界やノイズの発生する場所

速結端子のご使用方法

- 電線は必ず右記の単線を使用してください。
- 速結端子への入線は、1端子あたり、1本にしてください。

●曲がった心線は使用しないでください。接触不良などをおこし、不動作の原因となります。



- 小勢力端子
- ストリップゲージに合わせて電線被覆を10mmむき、□心線を奥まで確実に差し込む。

●電線のはすし方
①電線を速結端子と水平にして、Ⓐドライバー（小）で解除ボタンを押しながら、②電線を引き抜く。

●導通確認のしかた
小勢力端子は、テスター孔にテスター棒を差し込めば接続したまま導通確認ができます。

取 付 方 法

1 取付位置を決め、取付用プラグボルトを打ち込む。

- プラグボルト（M6）（市販品）の打ち込みと、配線を引き込む位置は右図の取付金具の取付寸法図のとおりです。
- この商品の取付寸法はφ14です。
- 本体の底上げは15mmです。
- AC100V配線と小勢力配線を右図の位置より引き出してください。

●本体の操作スイッチ部が床面から800mm～1500mmの位置になるように取り付けてください。（図1参照）

2 入線を行う。

- AC100V配線と小勢力配線は分離して入線してください。

3 上側のプラグボルト（3ヶ所）で取付金具を壁面に固定する。

- 表裏を間違わないよう、図のように取り付けてください。
- 床面に對し、水平になるように取り付けてください。傾斜角が大きいと運動操作盤の扉の開き方が悪くなる場合があります。

4 本体を取付金具に引っ掛ける。

5 下側のプラグボルト（2ヶ所）で本体を壁面に固定する。

6 付属の取付ネジ（3ヶ所）で本体と取付金具を固定する。

7 配線する。※「接続方法」を参照

8 交流電源スイッチを「入（ON）」側にする。

9 電池のコネクタを取り付ける。

10 本体の扉を閉める。

取付金具の取付寸法図

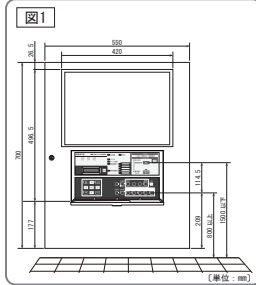
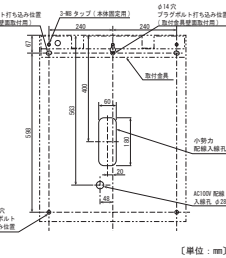
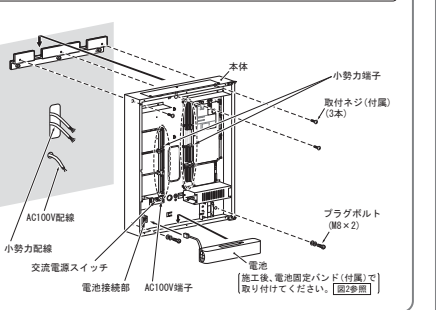


図2

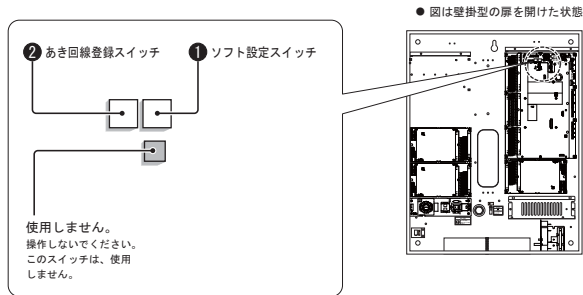
- 電池固定バンド（付属）の先端を電池固定バンドの穴に通して、電池を固定してください。
- 扉を閉める際に、リード線をはさみ込まないようにしてください。



機 能 設 定

●そのほかの機能設定については付属の設定説明書を参照してください。

- 「ソフト設定スイッチ」「あき回線登録スイッチ」について設定します。



1 ソフト設定スイッチ

- 回線種別設定などの初期設定・設定変更・設定内容確認時に使用します。詳しくは、設定説明書を参照してください。

2 あき回線登録スイッチ

- すべての接続が完了後、通電し、警戒中の状態にしたあと、本体内部のあき回線登録スイッチを1秒以上押ししてください。これであき回線はすべて登録されます。
- 一斉試験をしてあき回線が、確実に登録されたか確認してください。（取扱説明書（点検・施工される方へ）参照）
もし使用回線表示試験のときに感知器の接続回線であるにもかかわらず、その地区灯が消灯している場合はその回線はあき回線に登録されています。あき回線登録スイッチを再度押しして使用回線にしてください。

●運動操作盤の電源を「切（OFF）」側にした場合でも登録は解除されません。

■ 全回線あき回線登録を解除する場合（設定内容を出荷時の状態にする場合）

- 点検スイッチを1秒以上押しして点検状態（点検スイッチ灯点滅）にし、あき回線登録スイッチを1秒以上押ししてください。（点検状態は点検スイッチを放した後、10秒間継続します。）

出荷時設定
全回線使用回線

